

臨時開催

(オンライン聴講あり)

プロサーチャーによる A I ツールの活用法

調査工程別の A I ツールの使い分け
特許調査の種類別活用法

講師	酒井 美里 (スマートワークス㈱ 代表取締役、元セイコーエプソン㈱ 知的財産本部)
日程・会場	東京会場 → オンライン配信 (受講者端末)
	6月12日 (木)
時間	半日間 (13:30~16:30)
アクセス	http://www.jpds.co.jp/company/access.html
定員	東京本会場 24 名 / オンライン 30 名 (先着順申し込み)
受講料 (税別)	18,000 円 (税込 19,800 円)
対象	特許調査担当の初級者以上

内容

昨今、A I 技術の目覚ましい進化と様々な分野での活用事例が話題となっており、知的財産の業界でも A I を使ったツールやサービスがリリースされてきております。

その一方で、「今一つ A I ツールとの付き合い方が分からない」、「そもそも特許調査に向いているの?」といったような疑問をお持ちの方もおられるのでは・・・。

本セミナーでは、特許調査のプロが実際にどういった業務に使っているのかを大公開! 特許調査スタッフ目線で現実的な A I ツール活用のヒントをお伝えします。また、セミナーでは講師とのディスカッションも予定しております。

特許調査実務者、開発・設計部門の知財リエゾンを担当されている方にお勧めいたします。

プログラム

- ◆ A I ツールは、どのようなものがあるのか?
 1. A I ツールの近況
 2. そもそも特許調査に使えるの? : 調査種類別? 技術分野の違いは?
 3. A I と生成 A I は違うのか?
- ◆ 調査シーンごとの A I ツール活用事例紹介
 1. 技術の概説と 矛盾点やハルシネーション発見のヒント
 2. 調査テーマの妥当性検討
 3. 検索キーワードの収集・整理
 4. A I を利用しない方がスムーズな例: 公報リスト (Excel) からの抜粋
 5. 日本語検索式 (JP-NET) の英訳補助

(備考) 取り上げる A I ツール: JP-NET、ChatGPT、Perplexity、Gemini、FeloAI、等

【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application2025.html>

【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出ください。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。
- ・ 講師とのディスカッションは対面会場の方のみのご参加となります。